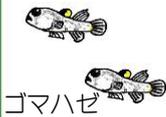


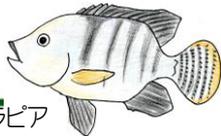
漫湖水鳥・湿地センター

たよひ

2006年10月10日発行 No.39



ゴマハゼ



テラピア



クロホシマンジュウダイ



キララハゼ

自然観察会 漫湖の魚を捕まえよう!!

9月10日(日)、講師に前田健先生(琉球大学大学院)を迎え、漫湖の魚を捕まえる観察会を行いました。センターで魚の観察会をするのは、初めてです。さあ、どんな魚が捕まえられるのかな?

まず、館内で漫湖にいる魚についての説明がありました。どうやら、漫湖にいる魚の多くは、一生のうちで海で生活する期間があるようです。

その後、長靴に履き替え、魚捕りです。センターのすぐ横で捕獲開始!! 今回は、網を使って魚を捕まえました。石の下などを網でゴソゴソ、ジャブジャブ...こんなところに魚なんていないと思いきや、小さな魚がたくさん捕れました。

センターに戻り、捕まえた魚を水槽に入れて観察します。テラピア、ボラ...全部で14種類もの魚を捕まえることができました。

注目を集めたのが、「キララハゼ」です。泥の中に住んでいるハゼですが、体に緑色のキラキラがついています。参加者から「漫湖にこんなにきれいな魚が棲んでいるとは思わなかった!!」との感想をいただきました。

意外に多くの魚がいたことや、きれいな魚もいたことなど、新しい発見の多い観察会でした。

この観察会は、ボランティアの方々や助手の方々など協力を得ながら、安全に行うことができました。



マングローブ林の中にも魚がいるのか探検しました。



網を使って魚を捕まえました。



捕まえた魚を観察!! 前田先生がいろいろ教えてくださいました。

＊＊ 講演会開催のお知らせ ＊＊

18年度 漫湖水鳥・湿地センター 講演会

沖縄の自然と貴重な生きものたち
～生き物たちの標本を間近に観察しよう～

11月26日(日)

16時～18時

(入場開始 15時30分から)

入場無料
要予約

ヤンバルクイナやヤンバルテナゴコガネの
実物標本が見れるよ!!

東洋のガラパゴスとも呼ばれる沖縄のすばらしい自然、そこに棲む独特な生き物たち、
ヤンバルクイナやヤンバルテナゴコガネの実物標本を見ながら、沖縄の自然を再発見しましょう。

講師:佐々木 健志先生(琉球大学資料館学芸員)

場所:漫湖水鳥・湿地センター

定員:100名(要予約・先着順)

お願い:駐車場があまり広くありませんので、公共交通機関でお越しください。(モノレール奥武山公園駅より徒歩 15 分)また、車でご来場の際は、乗り合わせでお越しください。

主催:漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会

協力:琉球大学資料館(風樹館)

後援:那覇市教育委員会・豊見城市教育委員会

(株)沖縄タイムス社・(株)琉球新報社 (予定)

お申込・お問い合わせ:

漫湖水鳥・湿地センター TEL : 098(840)5121

* 予約受付、11月1日(水)から開始します。

漫湖水鳥・湿地センター 絵画・作文コンクール表彰式

日時:11月26日(日)13時～14時半

場所:漫湖水鳥・湿地センター

* 講演会の前に行います。

漫湖水鳥かわら版 39 ~ 9月 シラサギ大集合 ~

9月	羽数	先月との比較
ゴイサギ	2	↑
アマサギ	40	↑
ダイサギ	13	↓
チュウサギ	7	↓
コサギ	7	↓
アオサギ	8	↑
ミサゴ	1	→
バン	1	→
シロチドリ	4	→
メダイチドリ	2	→
オオメダイチドリ	2	↓
ムナグロ	37	↑
ダイゼン	3	↑
トウネン	48	↓
アカアシシギ	18	↑
コアオアシシギ	2	↑
アオアシシギ	9	↓
キアシシギ	18	↓
イソシギ	13	↑
ソリハシシギ	11	↓
オオソリハシシギ	1	↑
ダイシャクシギ	3	→
ホウロクシギ	2	↑
チュウシャクシギ	17	↑
セイタカシギ	12	↑
クロハラアジサシ	3	↓
カワセミ	1	→
キセキレイ	1	↑
合計	286	↑

9月23日 アマサギ

地元新聞の一面には多くのアマサギが佐敷干潟に渡来してきたという記事がありました。渡りの季節が本格的になってきたのでしょうか。

いつものようにとよみ大橋の下のマングローブ林を見ていると、なんとそこには数十羽のシラサギが羽を休めていました。漫湖にもアマサギがやってきたのです。数時間後には干潟に下りて横に並んでいました。数えてみると60羽を越えていました。佐敷干潟にいたアマサギも漫湖に立ち寄ったのかな？

これから多くの渡来が見られるでしょう。さあ、どんな鳥に出会えるのか楽しみです。

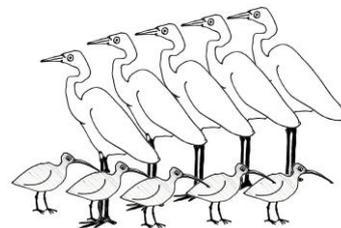


9月27日 サギとチュウシャクシギ

夕方、干潟を観察していました。満潮前で、広い漫湖干潟も中央だけが水につからず、干潟が残っています。

残された干潟のあちこちでエサを食べていたサギ達の動きが急に激しくなりました。なぜか、1ヶ所に集まっていきます。サギの井戸端会議？と思いきや、なぜかチュウシャクシギもどんどん集まってきます。

その後、すぐに解散してしまいましたが、いったい何の会議だったのでしょうか？



* * 行事のお知らせ * *

自然観察会 「漫湖水鳥・湿地センター」

日 時：10月29日（日）10時～12時
 集合場所：漫湖水鳥・湿地センター
 対 象：小学1年生以上（低学年は保護者同伴）
 定 員：30名（要予約・先着順）
 費 用：保険料100円
 持 ち 物：帽子・タオル・飲み物・筆記用具・歩きやすい服装・靴
 講 師：高原 建二先生
 問い合わせ・お申込み：漫湖水鳥・湿地センター TEL：098（840）5121

鳥や植物を観察しながら、
漫湖周辺を散策しよう!!



特別企画展示 「比嘉邦昭さん 野鳥写真展示会」

ただ今、比嘉邦昭さんが県内で撮り集めた野鳥たちの写真展示会を行っています。

漫湖でもおなじみの身近な鳥から、見たこともないような珍しい鳥まで、たくさんの写真を展示していますので、ぜひ、ご来館ください。

期 間：11月15日（水）まで
 場 所：漫湖水鳥・湿地センター 1階
 費 用：無料

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

団体利用

9月			
学童・児童クラブ	地 域	大学・専門学校	
みどりヶ丘保育園	八重瀬町	尚学院 SBA	那覇市
小学校		医療・福祉関係	
とよみ小学校 2年生	豊見城市	アイリスケアサービス	那覇市
豊見城小学校 2年生	豊見城市	その他	
長嶺小学校 3年生	豊見城市	比謝川を蘇生させる会	嘉手納町
中学校			
長嶺中学校 特別支援学級	豊見城市		
豊見城中学校 1年生	豊見城市		



総入館者数
68,717名

9月の入館者数
1,470名
(うち団体 452名)

* * * 編集後記 * * *

沖縄は、とても涼しくなりました。秋晴れ、そしてさわやかな風を感じながら、渡っていく鳥たちを眺めて過ごす一日は最高ですね。



中井 聡子

〈 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会（環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市） 〉

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ～ 17:00 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合・翌日）、年末年始（12/29～1/3）

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)